

リセスチェッカーゲージ

モデルF-10 リセスチェッカーゲージ

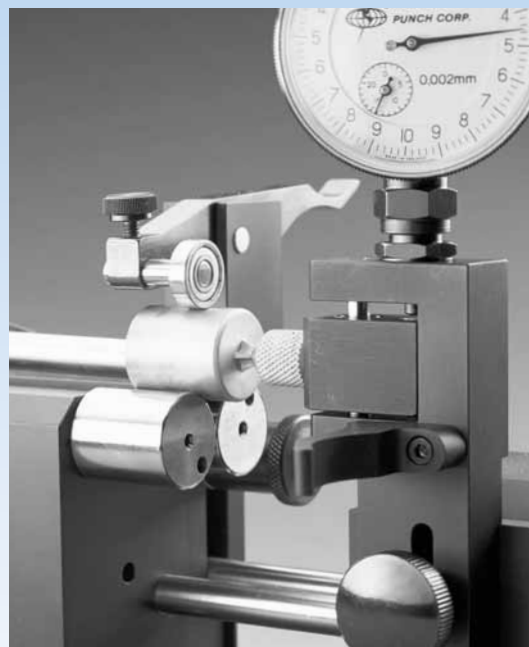
ワーク基準面径 3.1~25mm用
 ワーク基準面径 2.8~3.1mmの場合は#150-10トップローラーをご使用下さい。
 ワーク基準面径 2mm~2.8mmの場合は#145-10トップローラーの使用が必要となります。
 ワーク基準面径 2.0mm以下の場合はゼロ径3点ローラーの使用が必要となります。
 (詳しくはP16・17・18メインローラー、トップローラーをご参照下さい。)
 標準アクセサリ: #306-10アームヨーク、#300-00ネジリセスチェックングアタッチメント、
 #398-00タイミングベルトドライブシステム、メインローラー及びトップローラー

モデルF-20 大口径ワーク用リセスチェッカーゲージ

ワーク基準面径 10~50mm用
 標準アクセサリ: #307-20アームヨーク、#300-00ネジリセスチェックングアタッチメント、
 #398-00タイミングベルトドライブシステム、メインローラー及びトップローラー



モデルF-10/110-10FP
 (ダイヤルゲージによりネジリセスの軸部に対する振れを測定)



ヘッダーパンチリセスの振れ測定。
 (リアフローティングキャリアーに取り付けるプローブは雌型となります)

モデルFゲージにはリアフローティングキャリアーアセンブリが取り付けられておりワークの十字穴、トルクス穴、六角穴等の軸に対する振れを容易に測定する事が出来ます。ヘッダーパンチ等のリセスの振れも雌型の測定子により容易に測定する事が出来ます。

#306-10/307-20アームヨークの代わりに#302-00外径チェックングアタッチメントを取り付けますとワークの基準面径に対する測定面(円形状でなくても構いません)の振れの測定をする事が出来ます。又このアタッチメントにより多段冷間圧造ヘッダーの1番、2番、3番等のアップセット形状の軸部に対する振れの測定が容易に出来ます。

標準モデルの測定精度は2.5~4ミクロン、精密モデルの測定精度は1.2~1.8ミクロンです。

	ワーク径	ワーク長さ	ゲージ長さ	ゲージ幅	ゲージ重量
F-10	3.1~25mm*	102mm	267mm	114mm	3.8kgs
F-20	10~50mm	152mm	318mm	114mm	5.0kgs

*ワーク基準面径 2.8~3.1mmの場合は#150-10トップローラーをご使用下さい。
 ワーク基準面径 2~2.8mmの場合は#145-10トップローラーをご使用下さい。
 ワーク基準面径 2mm以下の場合はゼロ径3点ローラーの使用が必要となります。